

書面議決結果報告書

審議会名：令和2年度第2回藤沢市廃棄物減量等推進審議会

1 議事

令和3年度藤沢市一般廃棄物処理実施計画（案）について

結 果	原案から次の事項を修正し、承認されました。
-----	-----------------------

委員名	ご意見	回答
西田委員	資料1-P.6のプロパンガスボンベの記載で「大型ごみ」10kg未満、「危険物・処理困難物」10kgを超える とあります。LPガス容器は、10kg入りのものがあるので、「大型」を10kg以下とするべきではないかと考えます。	ご指摘ありがとうございます。 「大型ごみ」を10kg以下に修正します。
橋詰委員	説明資料1と資料1の表現や網掛けがズレていて読みにくいです。 「ふれあい収集」「福祉大型ごみ」の「等（市長が特に必要と認める者）」は、例を挙げて説明してほしいです。	ご指摘ありがとうございます。説明資料については、今後内容を精査します。 また、「等」については、現在、「市長が特に必要であると認める者」に該当する利用者はありませんが、今後、市民ニーズの多様化に配慮した柔軟な対応を行うための一文として記載しているところでございます。
—	—	（事務局から） 資料1-P.11の「コ 許可業者による収集」の業者数については、1社廃業しましたので、 <u>8.0社</u> に修正します。

2 報告

- (1) 北部環境事業所新2号炉建設工事の進捗状況について
- (2) フードドライブの実施について
- (3) ペットボトル回収事業について

結果

委員名	ご意見	回答
清水委員	(フードドライブについて) コロナ禍の長期化に伴い、社会的な意義が高まっている状況です。事業の更なる周知と拡充が望まれます。	今年度については、藤沢市広報3月10日号と合わせて配布する、ごみNEWSで周知するとともにホームページでも周知しております。今後についても様々な機会を活用し、周知してまいります。
渡辺委員	(フードドライブについて) 受付日を今後は増やして欲しいです。	賞味期限の記載が年月日ではなく、年月のものが多くなり、できるだけ取扱いができる期間を長くしたいことから月初めを受付日としております。 また、期間を定めた方が周知しやすいと考えております。一方、委員のようなお声もありますので、検討してまいりたいと思います。
鈴木委員	(フードドライブについて) 受付場所を自分の住んでいる市民センター（例えば善行市民センター）にすると近くで楽でいいと思いました。	受け付けた食品については賞味期限の確認と仕分けが必要となっております。また、各場所から集め、再度仕分ける作業が必要となることから、直ぐに増やすことは難しいですが、今後検討してまいりたいと思います。
松本委員	(フードドライブについて) ① サービス利用に際し、施設や団体に対して何らかの条件はありますか？	①フードドライブで集めた食品については、フードバンクかながわと一部を藤沢市社会福祉協議会に引き渡

	② チラシに発行の日付が記されている必要はありませんか？	し、基本的には NPO 法人や支援が必要な人に提供していると聞いております。 ②ご意見のとおり発行日を入れたものに修正します。
橋詰委員	(ペットボトル回収事業について) 市による「回収～保管」について、費用負担増がどの程度ありますか？	現在の試行店舗での収集や保管の費用負担はありません。今後、店舗数が増えた場合、年間 80 万円程度の費用負担を見込んでおります。

3 その他

- (1) 特定処理品目の追加について
- (2) ウォーターサーバ設置の取組について
- (3) 一声ふれあい収集の概要

結 果	すべて「意見なし」でした。
-----	---------------

以 上